

生活単元学習指導案（細案）

平成 31 年 2 月 1 日 金曜日 2 校時 (9:40~10:30)
高等部 3 年 男子 5 人 女子 3 人 計 8 人
場 所 高 等 部 3 年 教 室
指 導 者 福 島 幸 太 郎 (CT), 吉 元 ま お 里 (ST)

1 単元 「社会人サポートブックを作ろう」

2 単元について

(1) 単元設定の理由

<生徒の実態>

本学級の生徒は、総合的な学習の時間や産業現場等における実習で、様々な進路先の種類や卒業後の暮らし方について学習してきた。職場見学で先輩が仕事に取り組む姿を見たり、「ようこそ先輩」の学習で、来校した先輩の話を聞いたりする学習を経験しており、自分たちも先輩のようになりたいという思いを抱いている。卒業を目前に控え、自分に合った進路先を決めつつあり、これから、卒業後の生活に向けた手続きで、市役所等の公共施設の窓口を利用することが予想される。しかし、それらの施設の利用場面や利用方法について十分に理解している生徒は少ない。これは、これまでの生活の中で博物館や体育館などの余暇活動を目的とした公共施設は利用したことがあるが、市役所のような生活に必要なサービス提供を目的とした施設を利用した経験が少ないことや、自分が利用するサービスに関連した法律や制度への知識不足が考えられる。また、卒業後の生活では、冠婚葬祭の儀式へ参加する機会が増えることが予想される。これらの儀式について大まかなイメージをもっている生徒は多く、実際に参列したことがある生徒もいる。しかし、冠婚葬祭の儀式での具体的なマナーや必要ななどを理解している生徒は少ない。これは、儀式の内容や参列する自分の立場などを十分に理解していないことや、自分で服装や持ち物を準備する経験の少なさが考えられる。

<単元の意義・価値>

以上のような実態を踏まえ、本単元「社会人サポートブックを作ろう」を設定した。社会人サポートブックとは、卒業後の生活に関係の深い公共施設や制度の活用方法、冠婚葬祭でのマナーなど、社会で必要になる事項をまとめたものである。公共施設や福祉制度、冠婚葬祭について調べ、このサポートブックを作成する学習活動を設定することで、生徒たちは卒業後の生活を見据えながら、調べる内容を自分たちで具体的に考えるなど、主体的に学習活動に取り組み、公共施設や福祉制度の役割や活用方法を理解したり、冠婚葬祭に参列する際に必要なマナーや準備物などの知識を習得したりすることができる。と考える。

<ねらい>

そこで本単元では、卒業後の生活に役立つ公共施設や身近な制度を調べてまとめることで、卒業後の生活で予想される出来事と、そのときに活用する公共施設や制度などを対応することができるようにする。また、冠婚葬祭のマナーについて調べてまとめることで、行事の目的や内容、マナーなどをおおまかに理解し、参列に必要な物を用意することができるようにする。

<指導観>

具体的には、一次で、卒業後の生活で起こる出来事や、利用できる公共施設、制度、参列する可能性のある冠婚葬祭の儀式などを想定したボードゲームに取り組むことで、卒業後の生活への興味・関心を高めたり、これから調べなければならない内容に気付いたりできるようにする。二次では、卒業後の生活と関係の深い公共施設について、調べ学習や見学を行う。見学の際は、手続きの方法等の体験活動を設定することで、卒業後の生活で活用するイメージを高めることができるようにする。三次では、冠婚葬祭の儀式について、実際に参列した経験のある生徒の感想を交えながら話し合ったり、グループで調べたりすることで、具体的なマナーについて理解を深めることができるようにする。四次では、単元のまとめとして、卒業後の生活を想定したボードゲームに取り組むことで、社会人サポートブックを実際に活用しながら、出来事と利用できる公共施設や制度を対応させたり、冠婚葬祭の儀式に応じた服装や持ち物を選んだりして、これまでに学んだことを再確認できるようにする。

<展望>

このような学習を通して、生徒たちは、在学中に少しでも卒業後の生活への見通しをもつことで、新社会人になることに対する不安を楽しみに変え、夢や期待を膨らませることができる。と考える。また、サポートブックの作成において身に付けた施設の活用方法や冠婚葬祭でのマナーなどを調べる方法は、今後、新たな福祉制度が制定された際や、これまでに全く経験したことがない式典等に参加することになったときも生かすことができ、社会人としての自覚を高めながら生活することにつながる。と考える。

(2) 生徒の実態

観点 生徒	卒業後の進路に関すること 【職業】	公共施設の働きや利用方法の理解 【国語, 社会, 職業】
K. Y (3年, 男)	産業現場等における実習で、「就労継続支援A型事業所」と「就労継続支援B型事業所」で実習を行った経験があるが、それぞれの事業所で、雇用契約や報酬などに違いがあることへの理解は十分でない。卒業後は「就労継続支援B型事業所」の福祉サービスを利用する予定である。	市役所に保護者と一緒に行き、福祉制度に関する手続きをした経験があるが、その内容についての知識、理解は十分でない。教師と書く内容や字の大きさを確認しながら履歴書を書くことができる。公共職業安定所への求職登録を済ませているが、公共職業安定所の働きについては詳しく分かっていない。
S. M (3年, 男)	「一般企業」や「就労継続支援A型事業所」、「就労継続支援B型事業所」など、進路先には様々な種類があることが分かっており、労働条件や報酬などのおおまかな違いがあることも分かっている。卒業後は「一般企業」での就労か、福祉サービスを利用するか迷っている。	障害福祉サービスの利用経験がなく、手続き等で市役所に行った経験がほとんどない。公共職業安定所への求職登録を済ませており、公共職業安定所が、就職に関係した公共施設であることは分かっている。記入例を見ることで、履歴書に書く内容が分かり、書式に従って書くことができる。
T. T (3年, 男)	産業現場等における実習で、「一般企業」や「就労継続支援A型事業所」、「就労継続支援B型事業所」などで実習を行った経験があるが、労働条件や報酬などの違いがあることへの理解は十分でない。卒業後の進路は、「就労継続支援B型事業所」や「自立訓練」などの福祉サービスの利用を考えている。	市役所に保護者と一緒に行き、福祉制度に関する手続きをした経験があるが、その内容についての知識、理解は十分でない。教師の支援を受けて、就職面接会に必要な履歴書を書いたり、公共職業安定所への求職登録を済ませたりしている。公共職業安定所の具体的な働きについては分かっていない。
T. R (3年, 男)	「一般企業」や「就労継続支援A型事業所」、「就労継続支援B型事業所」など、進路先には様々な種類があることが分かっているが、労働条件や報酬などの具体的な違いについての理解は十分でない。卒業後は「就労継続支援A型事業所」での就労を目指している。	教師と書く内容や字の大きさを確認しながら、就職面接会に必要な履歴書を書くことができる。公共職業安定所への求職登録を済ませているが、公共職業安定所の働きについては詳しく分かっていない。日常的に福祉サービスを利用しており、定期的に保護者と相談支援事業所を活用している。
T. Y (3年, 男)	「一般企業」や「就労継続支援A型事業所」、「就労支援B型事業所」など、進路先の種類に違いがあることは分かっているが、自分で違いを説明することは難しい。卒業後は「就労継続支援B型事業所」での福祉サービス利用が決まっている。	市役所に保護者と一緒に行き、福祉制度に関する手続きをした経験があるが、その内容についての知識、理解は十分でない。日常的に福祉サービスを利用しており、定期的に保護者と相談支援事業所を活用している。申請書類等を自分で記入した経験はない。
U. N (3年, 女)	「一般企業」や「就労継続支援A型事業所」、「就労継続支援B型事業所」など、進路先には、様々な種類があることが分かっており、労働条件や報酬などの違いがあることも分かっている。卒業後は一般企業への就職が決まっている。	障害福祉サービスの利用経験がなく、手続き等で市役所に行った経験がほとんどない。公共職業安定所への求職登録を済ませており、公共職業安定所が、就職に関係した公共施設であることは分かっている。記入例を見ることで、履歴書に書く内容が大まかに分かり、書式に従って書くことができる。
N. Y (3年, 女)	「一般企業」や「就労継続支援A型事業所」、「就労継続支援B型事業所」など、進路先には、様々な種類があることが分かっており、労働条件や報酬などの違いがあることもおおまかに分かっている。卒業後は一般企業への就職が決まっている。	市役所に保護者と一緒に行き、福祉制度の利用に関する手続きをした経験があるが、その内容についての知識、理解は十分でない。公共職業安定所が、就職に関係した公共施設であることは分かっている。記入例を見ることで、履歴書に書く内容がおおまかに分かり、書式に従って書くことができる。
M. N (3年, 女)	「就労継続支援B型事業所」や「生活介護事業所」などで産業現場等における実習に取り組んだ経験があり、それぞれの事業所で、活動内容の違いがあることをおおまかに分かっているが、説明することは難しい。卒業後は「就労継続支援B型事業所」での福祉サービス利用が決まっている。	市役所に保護者と一緒に行き、福祉制度の利用に関する手続きをした経験があるが、その内容についての知識、理解は十分でない。日常的に福祉サービスを利用しており、定期的に相談支援事業所を活用している。所在地や担当者の名前などを知っている。申請書類等を自分で記入した経験はない。

生活に関係の深い法や制度の理解 【社会, 職業】	冠婚葬祭の内容・マナーの理解 【国語, 社会, 家庭】	授業の様子
<p>運転するためには免許がいること等、生活する上で様々な決まりがあることは分かっているが、具体的な内容を述べることは難しい。児童生徒会役員選挙に立候補した経験があり、選挙で選ばれた人が代表になることが分かっている。</p>	<p>結婚式や葬式に参列した経験があるが、冠婚葬祭の儀式の目的や必要なマナーについて問われても答えることは難しい。文例を参考にして、書く内容や書く場所を教師と確認することで、年賀状や暑中見舞いを書くことができる。</p>	<p>音声言語と併せて文字情報を提示することで理解が深まる。話し合い活動では、友達からの質問に対して、自分の考えを伝えることができる。タブレット端末の操作に慣れており、検索する単語を確認することで、必要な情報を検索することができる。</p>
<p>日本国憲法という名称は知っているが、どのような内容か説明することは難しい。車を運転するために自動車免許が必要であることや、選挙が委員長や市長など団体の代表を選ぶ制度であることを知っている。</p>	<p>結婚式や葬式などの冠婚葬祭の儀式に参列した経験はないが、結婚する新郎と新婦を祝う行事であることや葬式が人の死に関係している儀式であることは分かっている。文例を参考にして、年賀状や暑中見舞いを書くことができる。</p>	<p>音声言語だけではなく、視覚的な手掛かりがあると活動に集中して取り組むことができる。話し合い活動では、友達に質問をして意見を聞きながらまとめることができる。ワークシートの内容を確認したり、タブレット端末を活用したりして、必要な情報を読み取ることができる。</p>
<p>学校の児童生徒会役員選挙に参加した経験から、選挙は、投票を行い、代表になる人を選ぶ活動であることは分かっている。法律や社会の様々な制度の名称や内容について答えることは難しい。</p>	<p>冠婚葬祭の儀式に参列した経験がない。結婚式がお祝いをする儀式であることや葬式が人の死に関係していることが分かっている。書く内容や場所を教師と確認することで、年賀状や暑中見舞いを書くことができる。</p>	<p>話し合い活動では、教師が意見の例を選択肢で示し、その中から選んだり、発言に対して教師が言葉を添えたりすることで、自分の考えを伝えることができる。ワークシートにまとめた内容を繰り返し確認することで、様々な事柄を覚えることができる。</p>
<p>学校には、校則があることを知っている。児童生徒会役員選挙に参加した経験から、選挙に出ることを立候補ということや、選挙は、投票を行い、代表になる人を選ぶ活動であることが分かっている。</p>	<p>親戚の葬式に参列した経験があり、亡くなった方を見送る儀式であることが分かっている。冠婚葬祭の儀式で必要なマナーについて述べることは難しい。文例を参考にして、年賀状や暑中見舞いを書くことができる。</p>	<p>音声言語での指示をおおむね理解することができる。話し合い活動では、友達からの質問に対して、自分の考えを伝えることができる。教師や友達と一緒に、ワークシートの内容を確認したり、タブレット端末を活用したりして、必要な情報を検索することができる。</p>
<p>学校で児童生徒会役員選挙に参加した経験があり、選挙で選ばれた人が学校の代表になることが分かっている。法律や社会の様々な制度の名称や内容について答えることは難しい。</p>	<p>結婚式や葬式などの冠婚葬祭の儀式に参列した経験があるが、冠婚葬祭の儀式の目的や必要なマナーについて問われても、答えることは難しい。書く内容や場所を教師と確認しながら年賀状や暑中見舞いを書くことができる。</p>	<p>実物、写真、絵カードなどの視覚的な情報を提示することで、活動の見通しや理解を深めることができる。話し合い活動では、内容に関するイラストから自分の考えを選んで友達に伝えることができる。まとめた内容を繰り返し確認することで、様々な事柄を覚えることができる。</p>
<p>社会や国の決まりが、日本国憲法に基づいて定められていることをおおまかに分かっている。児童生徒会役員選挙に立候補し、児童生徒会長に選ばれた経験があり、大統領や議員など、選挙で国や団体の代表を決めることを知っている。</p>	<p>冠婚葬祭に結婚式や葬式があることを知っている。結婚式が、新郎と新婦を祝う儀式であることや葬式が、亡くなった方をしのぶ儀式であることを分かっている。文例を参考にして、年賀状や暑中見舞いを書くことができる。</p>	<p>抽象的な表現の理解は難しいため、具体的な内容を教師と確認することで理解が深まりやすい。話し合い活動では、友達に質問をして意見を聞きながらまとめることができる。ワークシートを見たり、タブレット端末を活用したりして、必要な情報を読み取ることができる。</p>
<p>社会や国の決まりが、日本国憲法に基づいて定められていることをおおまかに分かっている。児童生徒会役員選挙で応援演説をしたり、投票したりしたことがある。総理大臣や国会議員など、選挙で国や団体の代表を決めることを知っている。</p>	<p>結婚式や葬儀に参列したことがあり、それぞれの儀式の目的や内容をおおまかに分かっているが、冠婚葬祭の具体的なマナーについては分かっている。文例を参考にして、年賀状や暑中見舞いを書くことができる。</p>	<p>自分の考えを文章にまとめたり、発表したりすることができる。話し合い活動では、友達に質問をして意見を聞きながらまとめることができる。ワークシートの内容を確認したり、タブレット端末を活用したりして、必要な情報を読み取ることができる。</p>
<p>選挙という名称は知っているが、内容を説明することは難しい。学校の児童生徒会役員選挙では、実際の記載台を使って投票用紙に記入したり、投票箱に投票したりした経験がある。</p>	<p>結婚式が、結婚した人を祝う行事であることを分かっている。冠婚葬祭の儀式の目的や必要なマナーについて問われても答えることは難しい。書く内容や場所を教師と確認しながら年賀状や暑中見舞いを書くことができる。</p>	<p>音声言語とともに、写真やイラスト、文字を使って伝えることで情報を整理し、内容を理解することができる。話し合い活動では、教師が考えを引き出しながら一緒に言葉を組み立てたり、内容に関するイラストから、自分の考えを選んだりして、考えを伝えることができる。</p>

3 単元目標 ※ 授業計画シート参照

4 指導計画 ※ 授業計画シート参照

5 本時の実際 (14/15)

(1) 全体目標

ア 卒業後の生活に役立つ公共施設を調べてまとめた内容を確認し、仕事に関する相談や手続きで活用できる公共施設の名称や利用方法などを答えることができる。 【社会, 職業】

イ 冠婚葬祭のマナーについて調べてまとめた内容を基に、結婚式の目的や内容, マナーなどを確認し, 招待状の返信はがきを適切に記入したり, 儀式に応じた準備物を選んだりすることができる。 【国語, 社会, 家庭】

(2) 個人目標

生徒	個人目標
K. Y (3年, 男)	ア 社会人サポートブックを活用しながら, 公共職業安定所や相談支援事業所の名称やおおまかな働きについて答えることができる。 イ 社会人サポートブックを活用しながら, 結婚式の目的や内容を確認し, 見本を見ながら招待状の返信はがきを記入したり, 参列に適切な服装を選んだりすることができる。
S. M (3年, 男)	ア 社会人サポートブックを活用しながら, 働くことに関する出来事とそのときに活用する公共施設を対応させたり, 公共職業安定所と障害者就業・生活支援センターの働きや具体的な手続きの方法を説明したりすることができる。 イ 社会人サポートブックを必要に応じて活用しながら, 結婚式の目的や内容について答え, 招待状の返信はがきを正しく記入したり, 参列する際の正しい服装や持ち物を選んだりすることができる。
T. T (3年, 男)	ア 社会人サポートブックを活用しながら, 働くことに関する出来事とそのときに活用する施設や制度などの名称を対応させることができる。 イ 社会人サポートブックを友達や教師と確認しながら, 結婚式のおおまかな目的や内容について答え, 見本を見ながら招待状の返信はがきを記入したり, 参列に適切な服装を選んだりすることができる。
T. R (3年, 男)	ア 社会人サポートブックを活用しながら, 働くことに関する出来事とそのときに活用する施設や制度などの名称を対応させ, 利用方法について答えることができる。 イ 社会人サポートブックを活用しながら, 結婚式の目的や内容を説明し, 見本を見ながら招待状の返信はがきを書いたり, 参列に適切な服装を選んだりすることができる。
T. Y (3年, 男)	ア 社会人サポートブックの内容を友達や教師と確認しながら, 公共職業安定所や相談支援事業所の名称と外観写真, 働きを表すイラストなどを対応させることができる。 イ 社会人サポートブックを使って, 友達や教師と招待状の返信はがきの書き方を確認しながら書いたり, 結婚式に参列するときの服装を選んだりすることができる。
U. N (3年, 女)	ア 働くことに関する出来事とそのときに活用する公共施設を対応させ, 社会人サポートブックの内容を手掛かりにししながら, 働きや内容を説明することができる。 イ 社会人サポートブックを必要に応じて活用しながら, 結婚式の目的や内容について答え, 見本を見ながら招待状の返信はがきを書いたり, 参列に適した服装や持ち物を選んだりすることができる。
N. Y (3年, 女)	ア 働くことに関する出来事とそのときに活用する公共施設や制度などを対応させ, 社会人サポートブックの内容を手掛かりにししながら, 働きや内容, 手続きの方法を説明することができる。 イ 社会人サポートブックを活用しながら, 結婚式の目的や内容について答え, 見本を見ながら招待状の返信はがきを書いたり, 参列する際の適切な服装や持ち物を選んだりすることができる。
M. N (3年, 女)	ア 社会人サポートブックにまとめた内容を友達や教師と確認しながら, 働くことに関する出来事とそのときに活用する施設の名称を答えたり, 名称と外観写真, 働きを表すイラストなどを対応させたりすることができる。 イ 社会人サポートブックを使って, 招待状の返信はがきの書き方を確認しながら書いたり, 友達や教師の意見を参考にしながら結婚式に参列する際の服装を選んだりすることができる。

(3) 指導及び支援に当たって

<これまでの学習の様子と本時の学習活動の概要>

生徒たちは、これまでに卒業後の生活で起こる出来事を予想し、出来事に応じて活用する公共施設や制度について調べてまとめたり、出席する可能性のある冠婚葬祭の儀式について調べ、出席時のマナーをまとめたりしてきた。前時では、これまでに調べてきた内容をタブレット端末にまとめた、「社会人サポートブック」を活用しながら、選挙制度の内容や投票方法、葬儀へ出席する際のマナーについて答え、卒業後の生活で想定される出来事への対応に少しずつ見通しをもつことができるようになりつつある。

そこで本時では、前時に引き続き、「社会人サポートブック」を活用して、卒業後の生活を想定したボードゲームに取り組みながら、仕事に関する相談や手続きを行う公共機関の名称や手続きの方法や結婚式の招待状の返信はがきの記入、出席する際のマナーについて答えることができるようにする。具体的には、以下のように指導及び支援を行う。

<導入>

前回の授業で取り組んだ、ボードゲームの内容について質問することで、選挙制度の内容や投票方法、葬儀へ出席する際のマナーの理解を深めることができるようにする。基 思

<展開>

- ・ T. T, T. Y, M. Nは、必要に応じて、ボードゲームで起こった出来事の内容について、教師とイラスト等を用いて確認してからゲームシートを操作できるようにする。基 思
- ・ S. M, U. N, N. Yには、選んだ答えについて、教師が質問をし、その理由を発表したり、話し合い活動の中で友達に説明したりする場面を設定することで、公共施設の働きや冠婚葬祭のマナーについて理解を深めることができるようにする。基 主 思 人
- ・ K. Y, T. T, T. R, T. Y, M. Nの社会人サポートブックには、公共施設等の画像や、働きを表すイラスト等を多く用いることで、内容を自分で判断する際の参考にすることができるようにする。基 主 思

<終末>

- ・ 得点表を基に、ボードゲームの内容で、できたことや難しかったことなどを生徒が発表することで、本時の学習内容を振り返ることができるようにする。基 思 人
- ・ T. T, T. Y, M. Nは、ゲームシートを実際に操作しながら発表することで、学習の成果を確認できるようにする。基 主 思 人

<指導及び支援に係る配慮事項と高等部の生徒に育てたい資質・能力との関連>

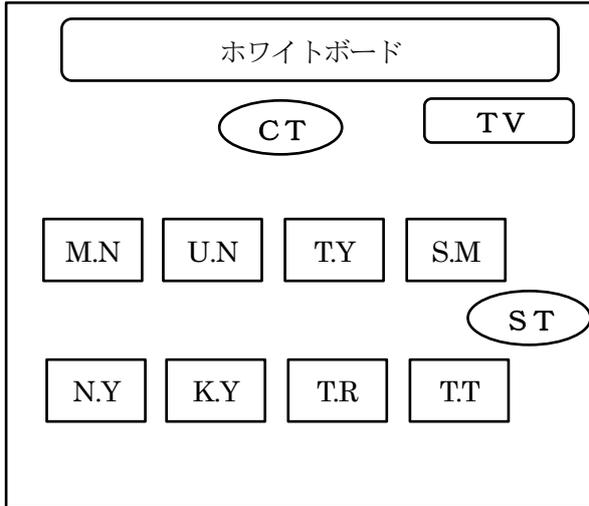
- 基 (基礎・基本) : 各教科の教育内容を身に付け、社会生活に必要な力を高める姿
- 主 (主体性) : 将来の姿を見据え、自分の良さや課題を理解し、具体的な目標をもって学習する姿
- 思 (思考・判断・表現) : 必要な情報を自ら活用したり、組み合わせたりして、集団の中で社会生活に生かせる方法で自分の考えを伝える姿
- 人 (人間関係) : 様々な集団の中で人と関わりながら自分の考えを相手に伝えたり、相手の考えを取り入れたりして互いの力を高め合う姿

(4) 実際

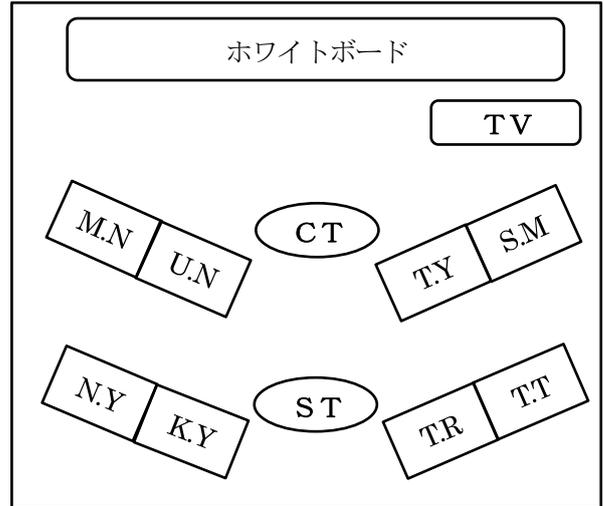
過程	主な学習活動	指導及び支援に当たって	資料・準備
導入 (7分)	1 始めの挨拶をする。 2 前時の学習を振り返る。 3 本時の学習内容を話し合う。 ボードゲームをして、社会人としての対応を考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> 前回の授業で取り組んだ、ボードゲームの内容について質問することで、選挙制度の内容や投票方法、葬儀へ出席する際のマナーの理解を深めることができるようにする。 CTの話聞いて、自分たちでめあてを話し合っ立てることで、本時の学習への意欲を高めることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ボードゲーム ゲームシート 学習計画表
展開 (35分)	4 ボードゲームのルールを確認する。 (1) 社会人サポートブックの活用方法を確認する。 (2) 話し合い活動の方法を確認する。 5 ボードゲームをする。 (1) 仕事に関する悩みを相談する公共施設を選ぶ。 (2) 転職や福祉サービスの変更を行う公共施設を選ぶ。 (3) 結婚式の招待状の返信はがきを記入する。 (4) 結婚式に必要な準備物を選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 社会人サポートブックの活用方法について確認することで、主体的にボードゲームに取り組むことができるようにする。 ペアでの活動を設定することで、話し合いながら学習に取り組むことができるようにする。話し合い活動を行う際は、最初に個人で考えた意見をまとめた上で意見を出し合うことを伝えることで、自分の思考を段階を経て整理したり、深めたりすることができるようにする。 CTはM. N, U. N, T. Y, S. Mを、STはN. Y, K. Y, T. R, T. Tを中心に指導及び支援を行うようにする。 就職や福祉サービス利用など、進路予定先を確認してから活動に取り組むことで、それぞれの進路先に応じた相談先が選択できるようにする。 S. M, T. R, U. N, N. Yは、求人票の読み取り、K. Y, T. T, T. Y, M. Nは、教師の支援の下、福祉サービス変更の申請書記入の活動を設定することで、具体的な利用方法や手続きの方法について理解を深めることができるようにする。 実際の招待状に近い具体物を使用することで、具体的な記入方法を理解できるようにする。 結婚式に適した服装や準備物は、イラストの他に、具体物も準備することで、実際の場面をイメージできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会人サポートブック 話し合い活動表 ボードゲーム ゲームシート 得点表 求人票 申請書
終末 (8分)	6 本時の学習を振り返る。 7 次時の学習について知る。 8 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> 教師が学習内容について質問したり、生徒ができたことや難しかったことなどを発表したりすることで、本時の学習内容を振り返ることができるようにする。 前時と本時の学習で、難しかったことを中心に学習することを伝え、次時の学習に見通しをもつことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 得点表 ゲームシート 学習計画表

(5) 場の設定

【導入、終末の配置】



【展開の配置】



(6) 教材・教具

学習計画表	社会人サポートブック	ボードゲーム
<p>学習内容を文字とイラストなどで示し、これまでの学習やこれからの学習の内容を確認できるようにしたもの。</p>	<p>卒業後の生活に関連の深い公共施設や制度、冠婚葬祭のマナー等についてまとめ、必要に応じて検索できるようにしたもの。生徒の実態に応じて説明する言葉を変えたり、イラストを多く用いたりしている。</p>	<p>卒業後の生活で想定される出来事を配置し、実際の生活をイメージしやすいようにしたもの。</p>
ゲームシート	話し合い活動表	得点表
<p>ボードゲームで起こった出来事に対応するイラストカード等を貼り付けたり、必要事項を記入したりできるようにしたもの。</p>	<p>話し合い活動の手順について記入し、他者の意見も取り入れながら学習できるようにしたもの。</p>	<p>ボードゲームで起こった出来事に対して、適切な対応ができた場合に印を付け、学習の履歴としても活用できるようにしたもの。</p>

(7) 評価

ア 全体目標

- (7) 卒業後の生活に役立つ公共施設を調べてまとめた内容を確認し、仕事に関する相談や手続きで活用できる公共施設の名称や利用方法などを答えることができたか。 【社会, 職業】
- (4) 冠婚葬祭のマナーについて調べてまとめた内容を基に、結婚式の目的や内容、マナーなどを確認し、招待状の返信はがきを適切に記入したり、儀式に応じた準備物を選んだりすることができたか。 【国語, 社会, 家庭】

イ 個人目標

生徒	個人目標	生徒の学びの姿	具体的な手立て	手立ての評価
K. Y (3年, 男)	ア 社会人サポートブックを活用しながら、公共職業安定所や相談支援事業所の名称やおおまかな働きについて答えることができたか。		社会人サポートブックの内容は公共施設の働きを調べやすいものであったか。	
	イ 社会人サポートブックを活用しながら、結婚式の目的や内容を確認し、見本を見ながら一人で招待状の返信はがきを記入したり、参列に適切な服装を選んだりすることができたか。		返信はがきの見本や、ゲームシートの服装イラストカードは一人で記入したり、操作したりする際、分かりやすいものであったか。	
S. M (3年, 男)	ア 社会人サポートブックを活用しながら、働くことに関する出来事とそのときに活用する公共施設を対応させたり、公共職業安定所と障害者就業・生活支援センターの働きや具体的な手続きの方法を説明したりすることができたか。		公共施設の働きについて説明を行う際、教師の質問のタイミングや内容は適切であったか。	
	イ 社会人サポートブックを必要に応じて活用しながら、結婚式の目的や内容について答え、招待状の返信はがきを正しく記入したり、参列する際の正しい服装や持ち物を選んだりすることができたか。		結婚式の目的等について答えたり、返信はがきを正しく記入したりするためにゲームシートは効果的であったか。	
T. T (3年, 男)	ア 社会人サポートブックを活用しながら、働くことに関する出来事とそのときに活用する施設や制度などの名称を対応させることができたか。		出来事と活用する施設や制度などの名称を対応させる際、社会人サポートブックは活用しやすいものであったか。	
	イ 社会人サポートブックを友達や教師と確認しながら、結婚式のおおまかな目的や内容について答え、見本を見ながら招待状の返信はがきを記入したり、参列に適切な服装を選んだりすることができたか。		結婚式のおおまかな目的や内容について答えたり、見本を見ながら返信はがきを記入したりする際、ゲームシートの内容は適切であったか。	
T. R (3年, 男)	ア 社会人サポートブックを活用しながら、働くことに関する出来事とそのときに活用する施設や制度などの名称を対応させ、利用方法について答えることができたか。		社会人サポートブックの「働く」、「暮らす」などの項目は、調べる際に手掛かりになっていたか。	
	イ 社会人サポートブックを活用しながら、結婚式の目的や内容を説明し、見本を見ながら招待状の返信はがきを書いたり、参列に適切な服装を選んだりすることができたか。		社会人サポートブックの内容は、一人で結婚式の目的や内容などを説明したり、返信はがきを書いたりする際参考になっていたか。	
T. Y (3年, 男)	ア 社会人サポートブックの内容を友達や教師と確認しながら、公共職業安定所や相談支援事業所の名称と外観写真、働きを表すイラストなどを対応させることができたか。		社会人サポートブックの公共施設等の画像や、働きを表すイラストは分かりやすいものであったか。	
	イ 社会人サポートブックを使って、友達や教師と招待状の返信はがきの書き方を確認しながら書いたり、結婚式に参列するときの服装を選んだりすることができたか。		ゲームシートのイラストカードは、分かりやすく、操作しやすいものであったか。	
U. N (3年, 女)	ア 働くことに関する出来事とそのときに活用する公共施設を対応させ、社会人サポートブックの内容を手掛かりにしなが、働きや内容を説明することができたか。		公共施設の働きについて説明を行う際、教師の質問のタイミングや内容は適切であったか。	
	イ 社会人サポートブックを必要に応じて活用しながら、結婚式の目的や内容について答え、見本を見ながら招待状の返信はがきを書いたり、参列に適した服装や持ち物を選んだりすることができたか。		結婚式の目的等について答えたり、返信はがきを正しく記入したりするためのゲームシートは、実態に合っていたか。	
N. Y (3年, 女)	ア 働くことに関する出来事とそのときに活用する公共施設や制度などを対応させ、社会人サポートブックの内容を手掛かりにしなが、働きや内容、手続きの方法を説明することができたか。		公共施設の働きや内容、手続きの方法を説明する際、教師の質問の内容やタイミングは適切であったか。	
	イ 社会人サポートブックを活用しながら、結婚式の目的や内容について答え、見本を見ながら招待状の返信はがきを書いたり、参列する際の適切な服装や持ち物を選んだりすることができたか。		結婚式の目的等について答えたり、返信はがきを正しく記入したりするためのゲームシートは、実態に合っていたか。	
M. N (3年, 女)	ア 社会人サポートブックにまとめた内容を友達や教師と確認しながら、働くことに関する出来事とそのときに活用する施設の名称を答えたり、名称と外観写真、働きを表すイラストなどを対応させたりすることができたか。		社会人サポートブックの公共施設等の画像や、働きを表すイラストは分かりやすいものであったか。	
	イ 社会人サポートブックを使って、招待状の返信はがきの書き方を確認しながら書いたり、友達や教師の意見を参考にしながら結婚式に参列する際の服装を選んだりすることができたか。		ゲームシートのイラストカードは、分かりやすく、操作しやすいものであったか。	

授業計画シート (各教科等を合わせた指導 ver.4)

学部	教科等名	学習集団 (グループ名等)	単元・題材名	総時数 (実施時期)
小・中 (高)	生単・作業	高等部 3年生	社会人サポートブックを作ろう	15時間 (1月～2月)

単元・題材の全体目標	教科等
卒業後の生活に役立つ公民施設や身近な制度を調べてまとめることで、卒業後の生活で予想される出来事と、そのときに活用する公民施設や制度などを対応することができる。	国・社・算・数・理・音 図・美・体・保健・生・職
公民施設や制度について調べてまとめることで、行事の目的や内容、マナーなどをとおまかかご理解し、参列に必要な服装や持ち物を用意することができる。	国・社・算・数・理・音 図・美・体・保健・生・職

児童生徒名	個人目標
K. Y (3年, 男)	卒業後の生活に関する深い公民施設や制度について、友達と話し合いながら調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを具体的に説明することができる。
S. M (3年, 男)	卒業後の生活に関する深い公民施設や制度について、情報機器を活用して調べた内容を教師と確認しながらまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。
T. T (3年, 男)	卒業後の生活に関する深い公民施設や制度について、友達と教師と一緒に調べて、儀式の名称とおまかか目的や内容を対し、必要に応じて準備物やイラストから選んだりすることができる。
T. R (3年, 男)	卒業後の生活に関する深い公民施設や制度について、情報機器を活用して調べた内容を教師と確認しながらまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。

児童生徒名	個人目標
T. Y (3年, 男)	卒業後の生活に関する深い公民施設や制度について、友達や教師と一緒に調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。
U. N (3年, 女)	卒業後の生活に関する深い公民施設や制度について、情報機器を活用して調べた内容を教師と確認しながらまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。
N. Y (3年, 女)	卒業後の生活に関する深い公民施設や制度について、友達や教師と一緒に調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。
M. N (3年, 女)	卒業後の生活に関する深い公民施設や制度について、友達や教師と一緒に調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。

学習指導要領との対応 (各教科等の内容)		指導計画	
記入例: (教科名) / 内容 < 資質・能力の三つの柱 > (問題)	できるよになっようになっよう (姿)	次	時数
【国語科】 (4) : 書く 相手や目的に応じていろいろな文章を適切に書く。 (1・2)	ア, イ ポードゲームに出てきた公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに取ってまとめること。 ア, イ ポードゲームに出てきた公民施設や冠婚葬祭の名称と調べた内容をワークシートに書くこと。 ア, イ ポードゲームに出てきた公民施設や冠婚葬祭の名称と調べた内容をワークシートに書くこと。 ア 公民施設について、友達と話し合ったり、友達と話し合ったりしながら調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。	—	2
【社会科】 (2) : きまり 社会の慣習、生活に関する深い法や制度を知り、必要に応じて生活に生かす。 (1・2) (3) : 公民施設 公民施設や公共物などの働きについての理解を深め、それらを活用することができる。	ア 公民施設について、友達と話し合ったり、友達と話し合ったりしながら調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。	—	6
【職業科】 (4) : 職業に関する知識 職業生活に必要な実践的な知識を深める。 (1・2)	ア 公民施設について、友達と話し合ったり、友達と話し合ったりしながら調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。	—	4
【家庭科】 (4) : 家庭生活に関する事項 被服、食料、住居などに関する実習を通して、健康で安全な生活に必要な実践的な知識と技能を習得する。 (1・2)	イ 冠婚葬祭の行事の名称と必要の服装、準備物などが分かること。 イ 冠婚葬祭の行事の名称と必要の服装、準備物などが分かること。 イ 冠婚葬祭の行事の名称と必要の服装、準備物などが分かること。 イ 冠婚葬祭の行事の名称と必要の服装、準備物などが分かること。	三	3 4時 (2/3)

学習活動		「本校の児童生徒に育てたい資質・能力」を育てるための工夫	
1 卒業後の生活に役立つ公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに取ってまとめること。 (1) 卒業後の生活に役立つ公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに取ってまとめること。 (2) 公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに書くこと。 (3) 公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに書くこと。	1 卒業後の生活に役立つ公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに取ってまとめること。 (1) 卒業後の生活に役立つ公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに取ってまとめること。 (2) 公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに書くこと。 (3) 公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに書くこと。	1 卒業後の生活に役立つ公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに取ってまとめること。 (1) 卒業後の生活に役立つ公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに取ってまとめること。 (2) 公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに書くこと。 (3) 公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに書くこと。	1 公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに取ってまとめること。 (1) 公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに取ってまとめること。 (2) 公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに書くこと。 (3) 公民施設や冠婚葬祭の名称をワークシートに書くこと。
2 公民施設について、友達と話し合ったり、友達と話し合ったりしながら調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。	2 公民施設について、友達と話し合ったり、友達と話し合ったりしながら調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。	2 公民施設について、友達と話し合ったり、友達と話し合ったりしながら調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。	2 公民施設について、友達と話し合ったり、友達と話し合ったりしながら調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。
3 公民施設について、友達と話し合ったり、友達と話し合ったりしながら調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。	3 公民施設について、友達と話し合ったり、友達と話し合ったりしながら調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。	3 公民施設について、友達と話し合ったり、友達と話し合ったりしながら調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。	3 公民施設について、友達と話し合ったり、友達と話し合ったりしながら調べてまとめる活動を通して、利用が予想される公民施設や制度の名称とおまかか動きや内容、手続きの方法などを他者に説明することができる。

<各教科等との関連>	
○生単「前期学習に行こう」「後期学習に行こう」	○総合的な学習の時間「働くこと・いろいろな生活について考えるよう」
○国語「相手に伝えよう」, 「書中見聞を書こう」, 「年賀状を書こう」	○特別活動「児童生徒会役員選挙をしよう」

<実施時期や時数に関する評価> ※単行・題材終了後に手書き	
○実施時期 適当・要検討 (頃)	○必要と思われる時数 適当・要検討 (時間単位必要)